

第1回府民公募型安心・安全整備事業審査委員会の概要

日 時 平成22年7月6日(火) 午後1時55分から3時10分

場 所 丹後広域振興局峰山総合庁舎第3会議室

委 員	京丹後市社会福祉協議会長	梅 田 耕之助
	与謝野町婦人会顧問	小 牧 恵 子
	宮津市建設室長	前 田 良 二
	京丹後市建設部長	大 村 隆
	伊根町地域整備課長	泉 良 悟
	与謝野町建設課長	西 原 正 樹
	京都府警察本部交通部交通規制課長	富 永 良 介
	京都府丹後広域振興局企画総務部長	大 槻 博 司
	京都府丹後広域振興局建設部長	山 崎 隆

平成21年度実施決定箇所を進捗状況について

土木事務所分はほぼ発注済だが、例えば下水道工事終了まで提案の道路舗装を待つ等諸般の事情により工事完成割合は6月末現在で約4割。

信号機関係は、審査委員会採択→公安委員会で承認の手順が必要であり、当初から完成が遅れることが予想されており6月末現在43%。

現時点での公募状況について

不受理案件なし。6月末現在で府全体686件、丹後局提案枚数278件、そのうち今回審査は52件。

技術審査結果について

○土木事務所分

- ・21年度に実施決定した案件がその後諸事情により実施不可となった2件(報告)
- ・21年度提案分で用地買収を伴うとして実施しない決定を行ったが、今回再点検した案件2件 いずれも実施すべき
- ・今年度の提案分

提案数43件 実施すべきもの37件 実施しないもの6件

○農林商工部森づくり推進室分

提案数2件 実施しないもの2件

○警察関係分

- ・今年度の提案分 案件7件 実施すべきもの7件
- ・既要望分(昨年度第4回審査委員会で実施せず(調整中)となっていた案件で実施の見込みが立った案件) 提案数3件 実施すべきもの3件

委員の主な意見等

Q: 受付NO. 1(土木案件)の事業実施範囲が要望400mに対して50mだけである理由は。

A: 道路の現状が急に狭くなっている部分(50m)のみ実施。

Q: 受付NO. 35(土木案件)の可変側溝とはどのようなものか。

A: 現場の側溝の高さに対応した側溝。

Q: 受付NO. 22(土木案件)については、提案者は府道と市道の道路幅が同じで行きたい集落の方向を迷いやすいため案内板を希望しているのではないか。

A：府道と市道とが判るよう道路番号標識は設置するが、集落の案内板までは不要と判断。

審査結果

○ 今年度提案分

	審査件数	実施決定数	実施せず
建設部	43	37	6
農林分	2	0	2
警察分	7	7	0

○ 昨年度審査分

	審査件数	実施決定数	実施せず
建設部 用地関連	2	2	0
警察分 調整中案件	3	3	0